

枚方市障害者計画（第4次）及び枚方市障害福祉計画（第6期）・

障害児福祉計画（第2期）（案）についての市民意見聴取（結果報告）

枚方市障害者計画（第4次）及び枚方市障害福祉計画（第6期）・障害児福祉計画（第2期）（案）についての意見聴取につきまして、市民の皆さまからご意見をいただきました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する事務局の考え方は以下のとおりです。

○市民意見聴取

■実施概要

意見募集期間：令和2年12月16日（水）から令和3年1月8日（金）

意見提出者数：14人、2団体

延べ意見件数：41件

内、公表する意見件数 13件

意見提出方法：意見回収箱 27件、e - アンケートシステム0件、ファックス 10件、持参4件

計画該当部分						意見概要	意見に対する考え方
計画	章	節	詳細	施策等	ページ		
障害者計画	4	2	1	公共施設の整備等	P32	枚方市駅に主となるエレベーターと下りエスカレーター、ホームには転落防止柵を設置してほしい。また、ハード面のバリアだけでなく、心のバリアにも指導をお願いしたい。	P35に記載しているとおり、引き続き「枚方市交通バリアフリー基本構想」などに基づき、公共施設や公園、道路などが、障害のある人を含めたすべての人に住みよく、居心地のよいまちづくりを進めます。 また P36に記載しているとおり、心のバリアフリーを推進するために、「ともに学び、ともに育つ」保育、教育を継続して進めることが必要であるとしています。

計画該当部分 けいかくがいたうぶぶん						意見概要 いけんがいよう	意見に対する考え方 いけんたい かんが かつ
計画 けいかく	章 しょう	節 せつ	細節 さいせつ	施策等 しさくとう	ページ ぺーじ		
障害者 がいしゃ 計画 けいかく	4	2	2	保育・療育・ きよういく じゅうじつ 教育の充実	P36	放課後等デイサービス ほうかごとう たいサービス について理学療法士の りがくりょうほうし 位置づけはどのようにな なっているのでしょうか。 じじつじょうひつよう 事実上必要な訓練が おこな 行われているのか、 資格を持っているもの し が携わっているのか知り た たいです。	機能訓練を行う際には機能訓練 きののうくんれん おこな さい 担当職員を配置することとなっ たんとうしよくいん はいち ています。
障害者 がいしゃ 計画 けいかく	4	2	2	保育・療育・ きよういく じゅうじつ 教育の充実	P36	「乳幼児健康診査事 にゅうよう しけんこうしんさ し 後指導事業（親子 ご し どう し ぎよう おやこ 教室）を実施していま きょうしつ じっし す。」とあるが、積極的 せつきよくてき に教室の利用を促し、 きょうしつ りよう うなが 又、利用が途絶えた親子 また りよう と だ おやこ へのフォローも手厚く てあつ してほしい。	P38 にも記載しているとおり、子 きさい どもと保護者への発達相談や療育と ほごしや はつたつそうだん りよういく 医療の連携を図り、育児支援を充実 いりよう れんけい はか いくじしえん じゅうじつ させるとともに、子どもの健やかな成 すこ せい 長や発達を支援するよう努め、地域 ちよう はつたつ しえん つと ちいき での療育を充実させるよう努めます。
障害者 がいしゃ 計画 けいかく	4	2	3	災害対策 さいがいたいさく	P42	災害時、一人暮らしの さいがい しひとりく 障害者に対し、声掛け しょうがいしゃ たい こえか をして一緒に避難して いっしょ ひなん ほしい。	P46 にも記載しているとおり、 きさい 登録を希望された障害者等の申請に とうろく きぼう しょうがいしゃとう しんせい 基づき、緊急連絡先等の情報を登録 ちと きんきゅうれんらくさきなど しょうぼう とうろく する災害時要援護者避難支援事業を さいがい じようえんごしや ひなんしえん じぎょう 実施しています。

けいかくがいとうぶぶん 計画該当部分						いけんがいよう 意見概要	いけん たい かんが かつ 意見に対する考え方
けいかく 計画	しょう 章	せつ 節	さいせつ 細節	しきくとう 施策等	ページ 頁		
しょう がい しゃ けいかく 計画 障害者計画	4	2	3	さいがいだいさく 災害対策	P42	ふくしひなんじょ 福祉避難所の充実・ せいかつ 生活の場となるための はいりよ 配慮をし、しっかりした いりようたいせい 医療体制を整えてほし い。また、避難所での かんせんしょうだいさく 感染症対策はどのよう になっているのか。災害 時、短期入所を利用で きない状況になった ばあい 場合についても不安が あります。	P45 の施策の基本的な方向にま めさせていただきます。
しょう がい しゃ けいかく 計画 障害者計画	4	3	1	きんきゅうじ たいおう 緊急時の対応	P54	じりつ しえんきょうぎかい 自立支援協議会では 緊急時の対応について どのような協議が行わ れているのか。また、親 亡き後の問題をどのよ うに解決できるのでし ょうか。サービス事業所 はたくさんあるが、人材 不足・能力不足である と感じます。	P55 に記載しているとおり、 「相談」「緊急時の受け入れ・対応」 「体験の機会・場」「専門的人材の 確保・養成」「地域の体制づくり」な ど相同的な機能を有する、地域生活支 援拠点の整備を引き続き検討し、それ ぞれの地域、障害特性のニーズに細 やかに対応する観点から、各機能を1 か所に集約したかたちでの拠点整備 ではなく、地域に点在する社会資源を 結び付け、面的な整備の方向を基本 に、枚方市自立支援協議会での議論を 踏まえて推進していきます。
しょう がい しゃ けいかく 計画 障害者計画	4	4	1	しゅうろう 就労に向けた 支援	P60	さくねんしんがた 昨年新型コロナウイルス 感染のため、工賃 収入が減少しまし た。就労継続支援B型 の支援を強化してほし い。また、チャレンジ 雇用や一般就労支援も 拡充してほしい。	P42 に記載しているとおり、一定 工賃が減少した事業所に対しては、 市独自補助金の交付を実施しました。 P64 に記載しているとおり、チャ レンジ雇用制度も継続して実施して いきます。 P87 に記載しているとおり、就労 継続支援B型における工賃について は一定目標を掲げ、取り組んでいる ところです。

けいかくがいとうぶぶん 計画該当部分						いけんがいよう 意見概要	いけん たい かんが かつ 意見に対する考え方
けいかく 計画	しょう 章	せつ 節	さいせつ 細節	しきくとう 施策等	ページ 頁		
しょうがい 障害者 けいかく 計画	4	5	1	そうだん しえんたいせい 相談・支援体制 の充実	P74	なや こま 悩みや困ったことを そうだん 相談する相手が家族や あいて かぞく 親せきが ^{おお} 多く、なぜ しょうがいしゃ 障害者相談支援センタ ーや基幹相談支援セン ター、民間・行政相談 きかん そうだん しえん 窓口が ^{すく} 少ないのか。自立 まどぐち 支援協議会が発足し、 しえんきよう きかい 社会資源の確保はされ てい ^か るので ^う しょうか。	P74 に記載しているとおり、アン ケート結果から、相談支援センター及 び基幹相談支援センターの周知を いっそうすす 一層進めるとともに、計画相談を行 う特定相談支援事業所においても、 いっばんてき 一般的な相談も行っております。 P76 に記載しているとおり、 ひらかたしじりつしえんきようきかい 枚方市自立支援協議会において、相談 支援センターなどの地域のさまざま な関係機関が協議し、情報を共有す ることによって、それぞれの機関での 相談への対応をより充実した内容に できるよう取り組みます。
しょうがい 障害 ふくし 福祉 けいかく 計画	5	5	3	ちいき せいかつ しえん 地域生活支援 じぎょう 事業 (4)成年後見 せいど 制度	P102	せいねんこうけんせいど 成年後見制度のわか りやすく、具体的な利用 ほうほう 方法の周知をしてほし い。	P27 に記載しているとおり、本市 では、令和2年度に「枚方市成年後見 せいど 制度利用促進基本計画」を策定し、 とりくみないよう 取組内容を記載し、行政の担当各課 や社会福祉協議会などが、市民後見人 の養成や地域連携ネットワークの こうちく 構築、成年後見制度の広報・啓発など に連携して取り組むものとします。
しょうがい 障害 ふくし 福祉 けいかく 計画	5	5	3	ちいき せいかつ しえん 地域生活支援 じぎょう 事業 (5)意思疎通 しえんじぎょう 支援事業	P103	しゅわつうやくしゃようせい 手話通訳者養成にも ちから っと力を入れてほし い。	P52 に記載しているとおり、手 話・要約筆記・音訳等の講習会を実施 し、奉仕員の裾野を広げ、有資格者の かくだい 拡大を目指しています。

計画該当部分 けいかくがいたうぶぶん						意見概要 いけんがいよう	意見に対する考え方 いけんたい かんが かんが
計画 けいかく	章 しょう	節 せつ	細節 さいせつ	施策等 しさくとう	ページ ぺーじ		
障害 ふくし 福祉 けいかく 計画	5	5	3	地域生活支援 事業 (8)移動支援 事業 障害児通学 支援	P123	障害児通学支援の 指定を受けている 事業所が少ない。高齢の 事業所等にも周知し、 障害のある児童が安心 して通学できるこの 制度をより活かしてほ しい。	P107 に記載しているとおり、ガ イドヘルパー養成研修等を開催し、 それぞれの障害特性を理解したヘル パーを育成するなど、質の高いサービ スが提供できる環境づくりに努め ます。 また、障害児通学支援事業の従事す るヘルパーの育成研修を柔軟に行 うなどして、従事者の確保に努めま す。
その 他				意思疎通支援		聴覚障害者専用の サロンなど交流の場を 設けてほしい。	P108 に記載している、一部の 基幹相談センターや地域活動支援セ ンター I 型の活動において、聴覚 障害者サロンを実施しているところ もあります。
その 他				意思疎通支援		市立ひらかた病院に 手話通訳者を設置して ほしい。	P73 に記載しているとおり、令和 2 年度より、緊急時の手話通訳派遣 においても病院の協力のもとタブ レット端末を用いた遠隔手話通訳 対応をしており、今後は、日常の手話 通訳派遣においても対応できるよう 体制の整備に取り組みます。